

# 2022 AUTOBACS SUPER GT Round 7 FAV HOTEL AUTOPOLIS GT 300km RACE

2022年10月2日(日)

## 決勝 レポート

65 Laps



場所:オートポリス (大分県) 1周 4.674m 観客動員数:11,000人  
天候:晴れ | コース:ドライ | 気温/路温 開始:25°C/43°C、終盤:26°C/40°C

### 高い路面温度に苦しむも2位を死守

2022年 SUPER GT 第7戦の決勝がオートポリス(大分県)で行われた。晴天に恵まれたが日照が強く、想定以上に路面温度が上昇し、タイヤに厳しいレース展開が予想された。

10月2日(日)

<決勝 65LAPS / 13:40~>

今回もスタートドライバーは井口卓人が担当する。井口はスタートダッシュを決めるも2番手の#52 Supra の激しい追撃を受け、10周目には GT500に抜かれるタイミングを利用され先行を許す。しかし3位以下を引き離す展開でレースは進み、25周目にピットインしタイヤを4本交換、2番手をキープしたまま山内英輝をコースに送り出す。山内はトップを行く#52 Supra との最大14秒あった差を、一時3秒差まで詰めるが、レース後半はタイヤもきつくなり再び差が開く。3番手の#65 AMG の追い上げも凌ぎ2位でゴールした。なお GT500クラスの優勝は#17 Astemo NSX-GT が、GT300クラ



www.rdsport.net

スは#52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT が制した。



#### ■澤田監督 コメント



レーススタート時の路面温度が高く、厳しいレース展開を想定しましたが、井口選手が序盤から後方とのギャップをつくり、後半の山内選手も粘りの走りをして2位表彰台に立つことが出来ました。ピットのタイミングもピット作業もロスなく結果に繋がりました。この勢いのまま最終戦に挑みます。

#### ■井口 卓人 コメント



土曜日の公式練習ではグリップ不足に悩まされ不安もありましたが、予選ではチームのセットアップの合わせ込みがうまくいき、山内選手が素晴らしいアタックをしてくれてポールポジションを獲得出来ました。決勝も、チームの戦略面での判断やピットワークが素晴らしく、タイヤが厳しい状況の中でも山内選手が最後まで耐え抜いてくれました。優勝は出来ませんでした。チーム全員がノーミスで次につながる良い戦いが出来たと思います。これで、シリーズチャンピオンの可能性を残した状態で最終戦に挑めます。最終戦も全力で戦いたいと思います。

#### ■山内 英輝 コメント



ポールポジションを獲得し、BRZ の得意な展開でレースを進められていたのですが、#52 Supra の方がペースも良く、最終的に前に出ることができませんでした。ただ今回の2位獲得でシリーズランキングのトップに2.5ポイント差まで追いつきました。最終戦に自信を持って戦える準備をしっかりとしていきたいです！

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/>、  
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2022/sgt/report/>もご覧ください

2022年10月2日  
アールアンドデースポーツ  
<http://www.rdsport.net/>



[www.rdsport.net](http://www.rdsport.net)